

とよた 市議会 だより

12月市議会定例会
冬号
平成18年1月15日

ファイルNo.
75

都市と山村の交流を促進します 帰農者滞在施設条例

井上公園に温水プールを建設 契約締結(温水プール建設・空調・給排水衛生設備工事)

民間の力を活用しサービスの向上と経費の縮減 指定管理者の指定(交流館はじめ117施設)

文化振興財団が管理者として指定された「交流館」



民間会社が管理者に指定された
「高岡公園体育館」と「高岡公園」

指定管理者制度 市有の公共施設の管理を、指定を受けた指定管理者が代行して行う制度で、地方自治法の改正で新たに導入された。株式会社やNPO法人など民間に管理者の範囲を拡大し、民間活力を活用してのサービス向上や経費削減を狙いとしている。

- トピックス
委員会の活動状況…………… ②
議案説明
条例制定・一部改正・補正予算・指定管理者の指定など…………… ③
常任委員会・意見書・討論
委員会の審査…………… ④ ▶ ⑤
採決一覧 議案審議結果…………… ⑥ ▶ ⑦

市政について問う!

一般質問 20人の議員が質問…………… ⑧ ▶ ⑪

情報あれこれ
11月市議会臨時会・議員研修会・議会の傍聴…………… ⑫



新豊田市にふさわしい 施策展開を目指して

委員会の活動状況

豊田市議会では、全国各地の先進的な施策を調査研究し、本市でも取り入れることができるものについては積極的に取り入れ、より良いまちづくりに生かしています。今年度も常任委員会と特別委員会が調査研究に係る行政視察を行いましたので、その概要を報告します。

市民生活を向上させるための、また経済を発展させるための新たな施策を市側に提言・提案することは、議員の重要な仕事の一つです。

全国各都市には、多くの先進事例があります。こうした全国の事例を調査し、単に他市の真似をするのではなく、豊田市に合った施策として、改良などを加え本市の新たな施策としていくための研究を行っています。

常任委員会

5つの常任委員会(企画総務、生活社会、教育次世代、環境福祉、産業建設)は、定例会や臨時会に市長から上程された多くの議案を細かく審査しています。その審査結果は議会本会議に報告され、採決で可否を決定します。議案の審査にあたっては、幅広い知識と見識が求められます。

一方、議会は市民生活を豊かにすることを第一義に考えなければなりません。住み良く暮らしやすいまちを実現させるためには、他市に一步先じた豊田市独自の施策を展開させていくことも必要となっています。

特別委員会

3つの特別委員会(災害に強いまちづくり、観光・交流推進、議会活性化推進)は、現在本市が直面している課題等から特定の事件を取上げ、調査研究する委員会です。定例会や臨時会の会期に関係なく開催することができ、市政だけでなく、国・県などの動向も注視しながら、状況を見据えた調査研究を行っています。

調査終了時には調査研究報告書を作成し、調査内容に応じて市長に提言します。

この調査研究活動の一つとして、先進的な取組をしている自治体や施設を訪問、具体的事例を詳細に調査し、本市の課題解決のための参考としています。



常任委員会の行政視察

委員会名	調査先	調査内容
企画総務委員会 (7/12-14)	神奈川県小田原市	総合計画策定における市民参加
	東京都世田谷区	政策評価
	東京都中野区	指定管理者制度
	神奈川県藤沢市	市民電子会議室
生活社会委員会 (7/19-21)	総務省	合併後のまちづくり
	神奈川県横浜市	水道局窓口サービスの一体化
	神奈川県横浜市	市民交流施設への民間活力の導入
	千葉県船橋市	防犯対策専門組織の設置
教育次世代委員会 (7/19-21)	広島県呉市	子育て支援事業
	広島県広島市	メンター制度、幼稚園・保育園の連携
	岡山県岡山市	小規模特認校
	兵庫県宝塚市	地域小規模児童養護施設運営事業
環境福祉委員会 (7/12-14)	東京都稲城市	介護のまちづくり
	東京都港区	環境学習施設と啓発手法
	東京都新宿区	高齢者福祉サービス支援
	埼玉県越谷市	せん定枝・刈草堆肥化事業
産業建設委員会 (7/12-14)	福岡県久留米市	商業振興施策
	大分県日田市	森林管理及び林業振興施策
	佐賀県鳥栖市	高速道路を活かしたまちづくり
	福岡県北九州市	若者及び高齢者の雇用対策

特別委員会の行政視察

委員会名	調査先	調査内容
災害に強いまちづくり特別委員会 (10/4-6)	新潟県十日町市	災害時における情報伝達体制(地震)
	新潟県柏崎市	災害時における情報伝達体制(地震)
	福井県福井市	災害時における情報伝達体制(水害)
観光・交流推進特別委員会 (10/4-6)	京都府宮津市	人が行き交う観光交流プラン
	京都府舞鶴市	観光基本計画
	兵庫県豊岡市	合併後の観光ネットワーク 住民との協働による観光振興
議会活性化推進特別委員会 (11/8-10)	神奈川県相模原市	議会中継及び議会のIT化
	総務省	地方制度調査会における議会のあり方
	NECブロードバンドソリューションセンター	IT化に関する事例
	東京都新宿区	議会改革



	議案名	内 容
条例の制定	【第197号】 豊田市帰農者滞在施設 条例	都市と山村との交流促進と、遊休農地の有効活用による山村の活性化を図るための滞在施設を稲武地区に2か所設置します。 本施設は、都市部の住民で、農園の耕作及び管理ができる方が対象。年額使用料(27万円・28万円)で利用することができます。
条例の一部改正	【第198号】 豊田市立学校設置条例の一部改正	下山地区の阿蔵小学校、三巴小学校、田平沢小学校、和合小学校を巴ヶ丘小学校に統合すること、及び林丘幼稚園を民間移管することに伴い、必要な改正を行います。
	【第204号】 豊田市国民健康保険税条例の一部改正 【第205号】 町村の編入に伴う豊田市国民健康保険条例及び豊田市国民健康保険税条例の適用の経過措置に関する条例の一部改正	国保事業の適正な運営を図るための基礎課税額及び介護納付金課税額の算定における資産割の廃止と、介護給付費の増額などに伴う税率の改定等の改正を行うものです。 国保の基礎課税額の税率を、所得割100分の5.6を6.1に、資産割100分の9.0を廃止とします。介護納付金課税額の税率を、所得割100分の0.86を1.06に、資産割100分の2.0を廃止とします。あわせて介護納付金課税額の軽減額及び課税限度額を引き上げます。 また、合併における経過措置として不均一課税を実施するための税率の改正等、必要な改正を行います。
補正予算	【第207号】 一般会計補正予算	歳入・歳出を11億5,200万円を増額し、総額1,573億5,500万円としました。主な増額は、乳幼児医療助成費、簡易水道事業特別会計繰出金、市道改良費、ITS推進調査費等です。
工事請負契約	【第215号】 (仮称)豊田市総合体育館横断歩道橋設置工事	挙母町地内に現在建設中の(仮称)豊田市総合体育館へのアプローチとして、歩行者の安全確保を図るため横断歩道橋を設置するもので、施設は延長68m、幅員2～4mです。契約金額は、2億3,940万円。完成予定は、平成19年2月28日
	【第216・217・218号】 豊田市井上公園温水プール建設・空調設備・給排水衛生設備工事	四郷町地内に、市民のスポーツ・レクリエーション活動の拠点として温水プールを建設します。この施設は、遊泳用、温浴プールのほか、トレーニング室なども完備します。契約金額は、それぞれ11億6,550万円・2億2,533万円・1億4,542万5,000円。完成予定は、平成19年6月29日
指定管理者の指定	【第219号】 から【第289号】 生涯学習センター 逢妻交流館ほか17施設 視聴覚ライブラリー 豊田地域文化広場 喜楽亭 総合野外センター 青年センター及び 勤労青少年ホーム など 指定期間 平成18年4月1日 ～21年3月31日	指定管理者制度の導入により、117施設(単独指名106施設、公募11施設)の管理者を指定します。主なものは次のとおりです。 施設名 管理者 交流館・運動広場18施設 文化振興財団 視聴覚ライブラリー 文化振興財団 豊田地域文化広場 文化振興財団 喜楽亭 文化振興財団 総合野外センター 文化振興財団 青年センター・勤労青少年ホーム 文化振興財団 豊田市体育館及び柔道場 市体育協会 高岡公園体育館及び公園 ホームメックス(株) 東山体育センター、古瀬間・東山運動広場 美里スポーツクラブ 石野運動広場 石野地区コミュニティ会議 五ヶ丘運動広場 市体育協会 保見、松平運動広場及び土橋公園 文化振興財団 藤岡山村広場 藤岡北部コミュニティ推進委員会 市民文化会館及び市民ギャラリー 文化振興財団 コンサートホール・能楽堂 文化振興財団 西部コミュニティセンター (株)豊田ほっとかん 平戸橋いこの広場、平戸橋公園 文化振興財団 猿投棒の手ふれあい広場 ホームメックス(株) 自然観察の森 日本野鳥の会 山の家リゾート安曇野 東レセンタープライズ(株) ITS情報センター 豊田都市交通研究所 テレビ共同受信施設 花テレビ共同アンテナ組合 福祉センター、藤岡・小原・下山各福祉センター 社会福祉法人豊田市社会福祉協議会 柳川瀬浄化センターほか9施設 污水処理施設管理公社
その他	【第290号】 町の区域の設定及び変更について	県営ほ場整備事業若園南部地区の実施に伴う、町の区域の設定。設定する町の名称:花園町桜 設定に係る区域 中根町:新西山の一部 花園町:古層及び六月田の各一部



12月7日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、5つの常任委員会でを行いました。委員会の審査内容を、主な質問と答弁に要約して紹介します。

開催日順に掲載しています。議案名等を一部省略しています。

産業建設委員会

12月8日(木)に委員会を開催、付託議案32件を審査し、すべての議案を承認しました。

【第197号】帰農者滞在施設条例

質問 施設の利用期間は一年間と設定しているが、定住促進にどのように取り組むか。

答弁 ここで一時体験をしたのちに、定住を希望する人には地域で空家や新しい住宅をあっ旋していきたい。

意見 中山間地の農業は、今後担い手不足と遊休農地の増加がいつそう進むことが予測され、新規就農の足がかりとなるこの制度は有効と思う。稲武以外の地区にも展開してほしい。

【第216～218号】工事請負契約の締結(井上公園温水プール建設工事ほか)

質問 井上公園に温水プールができると訪れる人が増えると思われるが、駐車場はどれくらい確保されるか。

答弁 現在より67台分増加される予定である。

【第238号】指定管理者の指定(市民山の家リゾート安曇野)

質問 指定管理者がコスト削減のため人員削減や業務内容を見直す中で、結果としてサービス低下にならないか。

答弁 今回公募により指定管理者となる団体は、審査過程において、素泊まり客等にも対応できるよう料金体系を細かく設定する、風呂の質を上げるなどの集客数を上げるプランを提案しており、サービス向上を図る。

環境福祉委員会

12月9日(金)に委員会を開催、付託議案20件と請願1件を審査し議案のすべてを承認し、請願1件は不

採択としました。

【第207号】一般会計補正予算(きれいなまちづくり費)

質問 今回購入する2台の不法投棄パトロール車をどこに配置し、どのような体制で行っていくのか。

答弁 藤岡支所と足助支所に配置、藤岡支所の車両は、藤岡・小原・旭地区、足助支所の車両は、足助・下山・稲武地区をそれぞれ日替わりでまわりパトロールと投棄物の回収を行う。

【第237号】指定管理者の指定(自然観察の森)

質問 指定される日本野鳥の会は全国組織であるので、県内外へのPRが期待できるのか。そのPRの考えと今後の利用状況について数値的目標は。

答弁 利用者数の目標は、現在が2万人弱でありこれを2万5,000人くらいになるようメニューなどを改善したい。市外の方の利用については、市の持っている媒体と日本野鳥の会の媒体をあわせて宣伝し、市外からも来場してもらえよう努める。

教育次世代委員会

12月12日(月)に委員会を開催し、付託議案23件と請願1件を審査し、議案のすべてを承認し、請願1件は不採択としました。

【第198号】学校設置条例の一部改正条例

質問 巴ヶ丘小学校への統合により、児童数、児童の通学方法の内訳はどのようになるか。また、校舎建設にあたり環境への配慮は行われているか。

答弁 平成18年4月1日時点で、児童数は104名、通学方法は徒歩通学24名、スクールバス通学80名と推計している。また、

環境への配慮として、地元材の使用を含む木材の利用、屋上緑化を行う予定である。

【第203号】保育所条例の一部改正条例

質問 子育て支援センターに対する旧町村内でのPRはどのように行われているのか。また、足助保育園では現在どの程度利用されているのか。

答弁 広報のほか、口コミ、チラシ等によりPRしている。また、足助保育園での利用者は仮オープン期間を含む3か月で2,000人弱あった。今後は悩みのある人が心を開いて相談できる環境を確保した運営をしていく。

生活社会委員会

12月13日(火)に委員会を開催し、付託議案16件を審査し、すべての議案を承認しました。

【第214号】平成17年度簡易水道事業特別会計補正予算

質問 簡易水道事業の今後の新規借入れの計画はどのようになっているか。

答弁 拡張事業、施設更新などの投資的な事業は、財政負担の平準化を図るために、借入れを有効活用していきたい。

【第219号】指定管理者の指定(生涯学習センター逢妻交流館ほか17施設)

質問 旧町村の交流館と支所が一体の交流館は、現在市の直営となっており、二通りの管理方法がなされることになるが、今後対策を講ずるのか。

答弁 支所と一体の交流館では、一部業務を委託し、影響がないように調整していく。また、旧町村の交流館では各地域の実情にあわせた管理がされているが、段階的に旧市内との相違をなくすよう努めていく。



委員会

企画総務委員会

12月14日(水)に委員会を開催し、付託議案8件と請願2件を審査し、議案のすべてを承認し、請願2件は不採択としました。

【第204号】国民健康保険税条例の一部改正条例

質問

介護納付金課税額の課税限度額の引上げの理由は、

答弁

介護納付金に関しては、合併前の7市町村すべてにおいて赤字会計であり、介護保険料の引上げ幅を少しでも抑えるため、介護納付金課税額を賦課限度額の8万円に引き上げる。

【第207号】一般会計補正予算(挙母城跡発掘調査業務委託事業)

質問

本業務委託の内容と今後の保存について

答弁

教育委員会が挙母城跡の発掘調査を行う事業で、発掘・写真撮影・測量・出土品の整理などを委託し、終了後、費用は地権者に請求。また保存については、記録保存になるが、出土品などについては、地権者と協議の上、できるだけ活用したい。

意見書

今定例会で、次の3つの意見書が議決され、内閣総理大臣はじめ関係者に送付しました。

議員提出意見書第5号

「真の地方分権改革の確実な実現」に関する意見書

三位一体改革は、小泉内閣が進める「国から地方へ」の構造改革の最大の柱であり、全国一律・画一的な施策を転換し、地方の自由度を高め、効率的な行財政運営を確立することにある。

地方6団体は、平成18年度までに、3兆円の税源移譲を実施するため、国庫補助負担金等に関する改革案を提出したが、政府・与党は、地方の改革案にはない児童手当や義務教育費国庫負担金の引下げなど、真の地方分権改革の理念に沿わない内容や課題を含む改革を決定した。

よって国に対し、18年度の地方税財政対策に対し、次の事項の実現を求める。

- 1 地方交付税の所要総額の確保
- 2 3兆円規模の確実な税源移譲
- 3 都市税源の充実確保
- 4 真の地方分権改革のための「第2期改革」の実施
- 5 義務教育費国庫補助負担金の税源移譲
- 6 施設整備費国庫補助負担金の税源移譲
- 7 法定率分の引上げ等の確実な財源措置
- 8 地方財政計画における決算かい離の同時一体的な是正
- 9 「国と地方の協議の場」の制度化

議員提出意見書第6号

公平公正な税負担に向けた見直しを求める意見書

わが国の厳しい財政状況は、今後の社会保障関連費の増加や人口の減少により、さらに厳しさを増すものと考えられ、行財政の改革の推進による思い切った歳出削減と公平公正な税負担による歳入増加を図り、財政構造の健全性を取り戻さなければならぬ。

平成18年に実施される所得税及び住民税の定率減税の縮小、年金保険料や雇用保険料の増加等、個人負担は年々増加している。国に、以下の視点に立ち国民が納得できる税負担に向け、見直しを要望する。

- 1 財政状況と財政再建策について国民への説明責任を果たすこと。
- 2 行財政改革をはじめとする徹底した歳出構造改革を行うこと。
- 3 所得捕捉格差是正や直間比率の見直しなど、公平公正な税制への改革
- 4 三位一体改革での税源移譲で国民税負担が変わらないようにすること。

議員提出意見書第7号

道路整備のための財源確保に関する意見書

合併により広範な市域をもつ本市は市域の一体化を図るため、また、都市部における渋滞解消のための幹線道路整備は緊急の課題となっている。国に次の事項を要望する。

- 1 道路整備に向け安定的な財源を確保すること。
- 2 地方の道路財源を充実強化すること。

討論

諸派 大村義則

議案197号の帰農者滞在施設条例は、「都市と農山村の共生」という理念のもと、合併の進め方の政策にそったものでもあり賛成。議案198、203号は、民営化に伴い林丘幼稚園と伊保原保育園を廃止するものであり反対。議案204、205号は国保保険税の改正で、それぞれ国保加入者の負担増になるもので反対。指定管理者の指定では、民間企業を指定する議案226、236号に反対

自民クラブ 八木哲也

議案197号の帰農者滞在施設条例は、

都市と山村の交流促進を図るものであり、自民クラブの政策大綱で都市と農山村の共生をあげており、これに合うものとし賛成。議案204号は、国保保険税の資産割の廃止など、加入者負担に配慮しながら、健全運営を図ろうとするものであり賛成。指定管理者の指定は、市有の施設管理を民間にも広げ市民サービスの向上と、行政コスト削減を図るもので、すべてに賛成

新政クラブ 岡田耕一

議案197号の帰農者滞在施設条例は、都市と山村の交流促進と遊休農地活用による山村の活性化を期待し賛成。議案204号は国保会計の現状から増額はやむを得ないと判断し賛成だが、組合健保、共済組合と同一制度で運営すべきと思う。

指定管理者の指定についての議案にはすべて賛成だが、市民サービスの向上と行政コストの削減のため、さらに公募する施設の拡大を図るべきである。

市民フォーラム 山内健二

議案197号は、定年を迎える団塊の世代が担い手になる、時宜を得たものであり賛成。高利な債務を繰上償還し健全財政のための努力をしている議案207、214号の一般会計及び簡易水道事業特別会計の補正予算に賛成。指定管理者の指定については117施設のうち、11施設の公募は、他市と比較しても、積極的に民間参入を促進したものと評価し賛成。単独指名の指定条件は今後検討を望む。

発言順に記載しました。



議案審議結果

議案名等は、一部省略して記載しています。

議案	採決結果	会派別賛否									
		自民クラブ 30名		市民フォーラム 10名		公明党 3名		新政クラブ 3名		諸派 1名	
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
12月市議会定例会に付された案件		議長を除く									
第197号 帰農者滞在施設条例	原案可決	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
198 学校設置条例の一部改正条例	"	30	0	9	0	3	0	3	0	0	1
199 市税条例の一部改正条例	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
200 手数料条例の一部改正条例	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
201 学校設置条例の一部改正条例	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
202 勤労青少年伊良湖キャンプ場条例の一部改正条例	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
203 保育所条例の一部改正条例	"	30	0	9	0	3	0	3	0	0	1
204 国民健康保険税条例の一部改正条例	"	30	0	9	0	3	0	3	0	0	1
205 町村の編入に伴う国民健康保険条例等の適用の経過措置に関する条例の一部改正条例	"	30	0	9	0	3	0	3	0	0	1
206 屋外広告物条例の一部改正条例	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
207 平成17年度一般会計補正予算	"	30	0	9	0	3	0	3	0	0	1
208 " 国民健康保険特別会計補正予算	"	30	0	9	0	3	0	3	0	0	1
209 " 都市計画事業土地区画整理特別会計補正予算	"	30	0	9	0	3	0	3	0	0	1
210 " 公共下水道事業特別会計補正予算	"	30	0	9	0	3	0	3	0	0	1
211 " 老人保健特別会計補正予算	"	30	0	9	0	3	0	3	0	0	1
212 " 農業集落排水事業特別会計補正予算	"	30	0	9	0	3	0	3	0	0	1
213 " 介護保険事業特別会計補正予算	"	30	0	9	0	3	0	3	0	0	1
214 " 簡易水道事業特別会計補正予算	"	30	0	9	0	3	0	3	0	0	1
215 工事請負契約の締結((仮称)総合体育館横断歩道橋設置工事)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
216 " ((仮称)井上公園温水プール建設工事)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
217 " ((仮称)井上公園温水プール空調設備工事)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
218 " ((仮称)井上公園温水プール給排水衛生設備工事)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
219 指定管理者の指定(生涯学習センター逢妻交流館ほか17施設)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
220 " (視聴覚ライブラリー)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
221 " (豊田地域文化広場)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
222 " (喜楽亭)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
223 " (総合野外センター)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
224 " (青年センター及び勤労青少年ホーム)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
225 " (体育館及び体育館柔道場)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
226 " (高岡公園体育館及び高岡公園)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	0	1
227 " (東山体育センター、古瀬間運動広場及び東山運動広場)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
228 " (石野運動広場)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
229 " (五ヶ丘運動広場)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
230 " (保見運動広場、松平運動広場及び土橋公園)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
231 " (藤岡山村広場)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
232 " (市民文化会館及び市民ギャラリー)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
233 " (コンサートホール・能楽堂)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
234 " (西部コミュニティセンター)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
235 " (平戸橋いいの広場及び平戸橋公園)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
236 " (猿投棒の手ふれあい広場)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	0	1
237 " (自然観察の森)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
238 " (市民山の家リゾート安曇野)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
239 " (ITS情報センター)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
240 " (テレビ共同受信施設)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
241 " (黒田集会所)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
242 " (シンナド多目的集会施設)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
243 " (富永集会所)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0

第244号	指定管理者の指定(平畑集会所)	原案可決	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
245	" (矢作集会所)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
246	" (稲武押山地区振興施設)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
247	" (福祉センター、ふじのさと、ふくしの里及びまどいの丘)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
248	" (稲武福祉センター)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
249	" (老人福祉センター豊寿園)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
250	" (老人福祉センターぬくもりの里))	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
251	" (東山デイサービスセンター)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
252	" (高齢者温泉休養施設寿楽荘)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
253	" (稲武大桑老人憩の家)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
254	" (稲武押山老人憩の家)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
255	" (稲武小田木老人憩の家)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
256	" (稲武御所貝津老人憩の家)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
257	" (小原老人憩の家)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
258	" (小原北部老人憩の家)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
259	" (足助まめだ館)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
260	" (桑原ふれあいプラザ)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
261	" (中当老人憩の家)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
262	" (平瀬老人憩の家)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
263	" (藤岡中部老人憩の家)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
264	" (障害者福祉会館及びサン・アビリティーズ豊田)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
265	" (身体障害者通所授産施設さくらワークス)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
266	" (身体障害者通所授産施設けやきワークス、知的障害者通所更生施設第二ひまり及び暖)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
267	" (こども発達センター)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
268	" (知的障害者生活ホーム喜多ハウス)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
269	" (福祉就業センターふれあいの家及び山室花はうす)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
270	" (高岡農村環境改善センター)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
271	" (旭高原自然活用村及び旭高原牧野)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
272	" (下山トレーニングセンター及び下山運動場)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
273	" (旭農林会館)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
274	" (稲武どんぐり工房)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
275	" (森林会館)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
276	" (木材需要促進センター)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
277	" (稲武基幹集落センター)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
278	" (豊田産業文化センター)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
279	" (王滝溪谷バーベキュー場)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
280	" (香恋の里)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
281	" (豊田高等職業訓練校)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
282	" (小原勤労者研修センター)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
283	" (鞍ヶ池緑地)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
284	" (猿投公園)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
285	" (中央公園)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
286	" (西山公園)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
287	" (毘森公園)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
288	" (柳川瀬公園)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
289	" (柳川瀬浄化センターほか9施設)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
290	町の区域の設定及び変更(県営ほ場整備事業若園南部地区)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
291	市道の認定(猿投側道3号線はじめ5路線/延長901.5m)	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
同意												
5	人権擁護委員の推薦(再任:平山直賢氏、加納一範氏、新任:田澤美枝子氏、加藤智子氏)	同意	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
請願												
2	最低保障年金制度の創設を求める請願	不採択	0	30	0	9	0	3	0	3	1	0
3	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書	"	0	30	0	9	0	3	0	3	1	0
議員提出意見書(5分参照)												
5	「真の地方分権改革の確実な実現」に関する意見書	原案可決	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
6	公平公正な税負担に向けた見直しを求める意見書	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0
7	道路整備のための財源確保に関する意見書	"	30	0	9	0	3	0	3	0	1	0



質問順に掲載しています

正式な会派名 自民クラブ:豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム:豊田市議会市民フォーラム 公明党:公明党豊田市議団
新政クラブ:新政クラブ 諸派:会派所属無

河合 芳弘 自民クラブ

指定管理者制度
地域会議と行政運営
EXPOエコマネー事業の継続
フェロシルト問題

質 問

地域会議と行政運営

地域会議で意見や提言が出た場合、住民組織の意向と調整を図る考えはあるのか。あるならば、地域全体の意向を反映したものとなるよう合意形成をどう図っていくのか。

答 弁

地域会議の意見等は、支所長が主体となり、地域全体の意向が十分反映されて共通認識を持てるように努める。自治区やコミュニティ会議との調整をとり、意見がまとまった段階で広く地域住民を対象に意見交換会を開催していく。支所長は、そこで出された住民意見を確認して意思の整合をとり、地域全体の合意形成を図る考えだ。

神谷 和利 自民クラブ

次世代育成支援について

質 問

「とよた子ども条例」の制定
すべての子どもが幸せに暮らせる地域社会とは、彼ら自身が社会の一員だと認識し思いやりの心を持つことだと考える。「とよた子ども条例」の基本的な考え方を伺う。

答 弁

目指すのは、子どもの主体的な育ちを支援する総合条例だ。いきいきと過ごすために必要な権利を確認し、実現・擁護に向けて施策の方向性を定めていく。制定により、市民に子どもを一個人として尊重する意識が根付く、子どもも

大人と一緒に地域づくりに参加できる、行政施策に子どもの意見が反映される等の効果を期待する。



太田 博康 自民クラブ

農業振興施策について
インターネット接続環境等の整備について

質 問

農業の担い手支援について

農業従事者の高齢化・後継者不足、遊休農地の増加に伴い、地域農業に新たな取組が期待される。農ライフ創生センターの卒業生と中山間地農地対策との連携について伺う。

答 弁

来春卒業の研修生を対象に、現在個別面談を行っている。現時点では中山間地域の農業希望者はいないが、今後の卒業生の中には希望者が出てくると確信している。中山間地域での大きな課題は住居の確保であると認識する。農ライフ創生センターでは、地域の空家の状況も含め、住居対策を今後の課題として取り組んでいきたい。

清水 俊雅 自民クラブ

農ライフ創生センターについて
幼保一元化・総合施設について
政府への働きかけについて

質 問

幼保一元化の豊田市の取組
平成8年度からの幼保一元化の本格実施を受け、渡刈保育園は、

今年4月から幼保一体のモデル事業に参加している。こうした総合施設の検討、実施における課題や問題点は。

答 弁

現行法制度の枠内で可能な限り一体化を進めてきたが、保育料・授業料の保護者負担や職員配置基準の一本化には難しい点がある。現行の制度を残しつつ新制度が作られるため、国の所管や財政支援等、制度の全貌が見えてこないのも課題だ。過日、国の視察では本市の先進性が高く評価された。今後も国へのアピールを続けていきたい。また、実現のためには、何らかのインセンティブが必要。今後、先進地の事例を参考に検討していく。



阿 垣 剛 史 自民クラブ

青少年健全育成について
藤岡地区の区画整理事業について

質 問

藤岡インター地区区画整理事業
藤岡インター周辺の区画整理事業は、住宅地や流通系企業向け等にと期待を集めている。そこで現在の進捗状況を伺いたい。また、今後の進め方についての考えは。

答 弁

旧藤岡町ではインター周辺を南の玄関口として、流通系・住居系の土地利用を図る目的で区画整理事業を進めてきた。今年度は追加調査として、周辺地区の土地需要動向調査を実施した。この結果をふまえ、引き続き関係者との話し合いを進める。事業化には土地所有者の意向や機運が最も大切な要素だと考え、取り組んでいきたい。



一般質問

小島 政直 公明党

学校における環境への取組について
高齢者に対する施策について

質 問

高齢者虐待防止に対する施策

認知症や知的障害の高齢者にとって、成年後見制度は極めて有効だが、理解不足や費用負担から利用は進んでいない。利用支援事業の充実をどう図っていくのか。

答 弁

来年4月に施行される法律にも「成年後見制度の利用促進」が規定されている。認知症高齢者の増加や高齢者虐待への対応、高齢者の悪質商法被害の増加等から、必要性は高まってくると考えている。成年後見制度利用事業だけでなく制度そのものについてもパンフレットを作成し、講演会等で配布して市民への周知を強化していく。



岡田 耕一 新政クラブ

藤岡第2中学校問題
PCB処理施設での事故について
祭座「ニッポン」について

質 問

祭座ニッポンの決算と市の対応

祭座「ニッポン」は市が9,000万円、(株)豊田スタジアムが4,000万円負担した。決算報告は、いつまでにされるのか。また、今後の市の対応を伺いたい。

答 弁

最終の決算報告は1月中と聞いている。全国展開事業で決算対象も広域多岐にわたるため、確認等

に時間を要している。中間報告での支出超過額は約1億8,000万円。実行委員会から(株)豊田スタジアムに対応を要請し、取締役会で受諾が議決された。損失を市が補てんする考えはなく、施設維持管理委託費への赤字補てんの追加計上はない。

加藤 昭孝 自民クラブ

みどり豊かな日本を次世代に

質 問

環境保全のための施策

地球温暖化の防止策にバイオマス利用は非常に有効だと考えている。「菜の花プロジェクト」をはじめ、各地で様々な事業が行われている。平成18年度からの本市の計画は。

答 弁

バイオマスに関する来年度以降の取組のうち3点紹介したい。一つ目は、今年3月に設立された豊田・加茂菜の花プロジェクトで、菜種油を学校給食で使っていきたい。二つ目は、建設中の新清掃工場でゴミ焼却による発電や熱回収を積極的に利用すること。三つ目は、緑のリサイクル施設による刈草や剪定枝の堆肥化を考えている。



中村 晋 市民フォーラム

指定管理者制度の公募結果
介護保険制度の準備状況
三位一体改革等の議論と地方への影響

質 問

三位一体改革の評価

三位一体改革は地方分権の推進の点で、最後まで地方と国が真の

目的を共有できなかった感がある。様々なリーダーシップをとってきた市長に、現時点での評価を伺う。

答 弁

地方側が強く主張していた3兆円規模の税源移譲は評価すべき点である。生活保護費の負担率の引き下げが盛り込まれなかったことも同様。しかし、社会保障等、多くの面で地方分権改革の理念とはほど遠く、地方の負担増の懸念もぬぐえない。まだまだ課題は多く全体としては不満が残るため、今後もしっかりとした努力が必要だ。

作元志津夫 市民フォーラム

森林政策の「地方分権」を目指して
豊田市生活交通確保基本計画の今後の取組

質 問

持続可能なトータルコスト低減

森林政策の「地方分権」を目指す中、コスト低減には安定した需要拡大が不可欠だ。豊田ブランドや木材の公共への活用、バイオマス燃料の促進についての考え方は。

答 弁

豊田ブランド等の産地認証制度は、県の「食と緑の基本計画」に基づいて関係者と協議を進める。公共施設の地域材活用として、来年度開校の下山地区の巴ヶ丘小学校では、校舎だけでなく児童机やイス、教師机等にも活用を図る。木質バイオマス燃料は木質ペレットストーブの実効性を調査する為、来年度試験的に導入していきたい。





質問順に掲載しています

正式な会派名 自民クラブ:豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム:豊田市議会市民フォーラム 公明党:公明党豊田市議団
新政クラブ:新政クラブ 諸派:会派所属無

鈴木 章 自民クラブ

食育の現状と今後の取組について
消防体制の方向性
文化財保護の現状と今後の方針について

質問

食育基本法と今後の取組方針
本年6月10日に「食育基本法」が国会で成立し、7月15日に施行された。幅広い分野での施策展開が必要になってくるが、本市の今後の取組や具体的施策を伺いたい。

答 弁

小中学校には学校栄養職員を派遣し、給食センターと学校との連携を深めていく。交流館では幅広い世代に対し、体験を通して学ぶ講座の充実にも努める。保育園、幼稚園では年1回の「ぱくぱく教室」の内容を充実させ、食の大切さを呼びかける。これらの他にも、食の安全、安心を大きな使命と考え、必要な施策を推進していく。

湯本 芳平 市民フォーラム

鞍ヶ池公園2期工事に向けて地域の特性に合わせた公園整備について

質問

鞍ヶ池公園2期工事の構想は
鞍ヶ池公園2期工事に向けての構想を伺いたい。工事の主眼点や利用者増のための方策はどんなものか。また、市民が集う公園のあり方として、どう考えているか。

答 弁

第2期では、利用者が美しい風景と四季折々の自然に囲まれ、多様な交流を通じて心身がリフレッシュされる公園づくりを目指して整備を行う。学識経験者や市民公募委員を含めた検討委員会を組織し、計画を策定する。利便性や管理運営を意識しつつ、物販や幼児向け遊具、公園下側の売

店等の設置に向けた検討を進めていきたい。



内藤 貴充 市民フォーラム

PCB処理施設の安全管理について
ゼロエミッション社会に向けて

質問

リサイクルの推進
市民の環境への関心は高まっているが、ごみの排出量は増加を続け多くの資源が無駄に消えている。本市では生ごみ発電等新たにリサイクルする方策はあるか。

答 弁

現在、ごみ・資源の市民による分別は8種類であるが、収集後、さらに市により7種類に分別し、計15種類の分別を行っている。平成19年度からは「プラスチック製容器包装類」を、その後は陶磁器及びガラス製品の分別収集を予定し、生ごみ発電については実現の可能性を探っていきたいと考えている。



松井 正衛 自民クラブ

豊田市内の生活道路整備について
特色ある学校教育への取組について

質問

学区外就学基準の見直し
学区外就学基準の見直しは、どのように進んでいるのか。基準緩和の対象は。また、学校の変更を

希望する場合、具体的にはどこが審査や許可を行っていくのか。

答 弁

現在の12項目の基準に「児童生徒の安全性・利便性を考慮した基準」を追加する方向で進んでいる。部活動等、個人的な要望は許可条件に入らない。各学校とも地域に根ざした教育を行っており、コミュニティを分断しない範囲での緩和が原則だ。保護者からの「変更願」をもとに、教育委員会で審査し許可を判断することになる。

水野 慶一 自民クラブ

土地利用について
教育について
体育館の利用について

質問

宗教的情操のかん養と道徳教育
子どもたちの規範意識や道徳心の低下、礼儀作法の乱れが広がっている。公立学校での宗教教育について教育長の考え方と、道徳教育のあり方について伺いたい。

答 弁

公立学校では教育基本法にのっとり、特定の宗教教育は行っていない。しかし宗教のもつ寛容の心、尊敬と感謝の念、勤労の尊さ等を教えることは重要だと考えている。道徳の時間に地域講師を招いたり、授業参観で道徳の授業を公開するなど工夫をし、学校教育はもとより、家庭や地域社会との連携により道徳教育を推進していく。





一般質問

稲垣 幸保 自民クラブ

山村・過疎地域の振興策について

質問

30分交通圏確保のための道路整備「30分交通圏」の確保のための道路整備について伺う。山間部での整備方針や進め方についての考えは、国や県との密接な連携が必要であるが、市はどう対応するのか。

答 弁

山間部の幹線道路は、ほぼ県が管理する国道や県道である。県が認知する新市建設計画をもとに、重点的に整備を進める。旧広域農道（現市道）を連絡する県道等、道路ネットワークの構築に重要な道路は必要に応じて整備の推進に努める。国や県との事業調整会議の実施、地域調整や用地交渉等、市として支援を積極的に行っていく。



外山 雅崇 新政クラブ

放射性廃棄物について
新加茂病院にまつわる諸問題について

質問

フェロシルトについて
フェロシルトの放射性について安全性の確認は、石原産業株式会社が埋設場所を把握しきれていない状況の中、付近の方への聞き取り等さらに調査を行ってはどうか。

答 弁

市としての測定はないが、医療のCTスキャンは1回で一般公衆の年間線量限度の6.9倍も浴びる

とされる。土岐市での最高検出値をふまえても埋設場所に長期間いなければ、ほぼ影響ないと考えている。石原産業から埋立行為者までのルート調査の結果、現状の埋設箇所は3か所だが、その他の情報があれば積極的に調査に入りたい。

清水 元久 自民クラブ

山村振興について
子供の情緒、情操効果を高めるための政策展開

質問

若者の定住対策
山村振興における若者の定住対策について、旧町村の取組への評価を伺いたい。定住対策の継続性を考慮し、若者向け集合住宅を含めた整備を考えてみてはどうか。

答 弁

合併町村の取組には一定の成果があったものの、特定賃貸住宅に空家があり、分譲地にも残地がある。すぐに全市展開するような評価には至っていない。旧町村の住宅施策については、地域の違いを認め、当面継続していく。公営住宅の整備については、平成18・19年度に住宅マスタープランの見直しをする中で、整備計画を考えていく。

大村 義則 諸派

耐震偽造問題と行政の責任
障害が重いほど負担が重い障害者福祉でいいのか

質問

民間検査体制の見直しが必要ではないか
耐震偽造問題は「官から民へ」無条件に規制緩和をすすめる国のやり方に、警鐘を鳴らすものである。国に対し「民間検査体制の見直し」を求めるべきではないか。

答 弁

民間検査機関には、建築確認の審査及び検査を行う権限があるが「許認可権」までは移譲されていない。しかし建築物の構造等について、市は報告を求めることはできても、完了検査結果を見直すことはできない。ご指摘の趣旨もふまえ、今後は適正な確認・検査業務が行えるよう、体制づくり及び責任の所在の明確化を求めていく。



近藤 光良 自民クラブ

豊田市の将来像が見える都市計画づくり

質問

市民が共有できる将来の都市像
豊田市の将来像について、合併時に検討された「新市建設計画」は、今後の総合計画にどう反映されるのか。また、検討にあたり市民参画のための具体的な方策はあるか。

答 弁

新市の基本理念、人、物、情報の多様な「交流」を生むまち、人と自然、都市と農山村が「共生」するまち、地域自らの責任と選択に基づく「自立」性の高いまち、活発な交流を支える都市基盤の整備されたまち、この考えを十分に反映したい。市民意識調査やまちづくり懇談会等に加え、地域会議からも市民の意見を聴いていく。





11月市議会臨時会

11月24日(木)の1日を会期として開催し、条例改正の2議案を審査、いずれも原案を可決しました。

臨時会の内容は次のとおりです。

議案説明

【195号】報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

一般職員の給与改定に準じて、市長など特別職と市議会議員の期末手当(12月支給分)を、現行170/100から175/100に引き上げるもの。

【196号】職員給与条例の一部改正

国家公務員の一般職の職員給与に関する法律の一部改正に準じて、給料月額及び扶養手当を引き下げ、勤勉手当(12月支給分)を、現行170/100から175/100に引き上げるもの。年間給与の平均引下率は、0.05%、3,355円となります。

企画総務委員会

2議案は、企画総務委員会に付託され、民間準拠された給与改定かどうかとの質問に、民間給与との比較により出される人事院勧告に基づくものとの回答があり、全会一致で承認されました。

討 論

諸派の大村義則議員が、議案第196号に反対の立場から、民間賃金が改善傾向にある中で、給与引下げは社会の流れに逆行、また4月にさかのぼる引下げは、不利益不遡及の原則を破る権利侵害である、との討論を行いました。

議案審議結果

11月市議会臨時会に付された案件

議案	採決結果	会派別賛否									
		自民クラブ 30名		市民フォーラム 10名		公明党 3名		新政クラブ 3名		諸派 1名	
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
第195号 報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	原案可決	29	0	9	0	3	0	3	0	1	0
196 職員給与条例の一部改正	原案可決	29	0	9	0	3	0	3	0	0	1
報 告											
第9号 専決処分の報告(工事契約変更3件、訴えの提起4件、和解の成立3件、損害賠償額の決定3件)											

議員研修会(11月16日水曜日)

11月16日、同志社大学教授の新川達郎氏をお迎えし、「地方分権と地方議会」のテーマで、全議員を対象とした研修会を開催しました。地方分権がますます進展する中で、市民との共働による市政の運営、議会が果たすべき役割や機能について重要性を改めて認識する機会となりました。



小学生が議会を傍聴(12月7日水曜日)

12月7日、足助・萩野・明和小学校の3校の4年生が社会科の地域学習で議会の見学に訪れました。ちょうど12月定例会の一般質問が行われており、「議会を傍聴する貴重な体験ができました。」との声をいただきました。



11月30日には下山地区の4小学校の議会見学もありました。議会の見学希望は、議会事務局にご相談ください。

ご意見・ご感想

「市議会だより」へのご意見・ご感想をお寄せください。また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・問合せ】

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地
豊田市議会事務局
電話 0565・34・6665 ファックス 0565・34・6566
Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

[とよた市議会だより]が豊田市のホームページでご覧いただけます
ホームページアドレス <http://www.city.toyota.aichi.jp>

議会中継は、[ひまわりネットワーク][FMとよた]で視聴できます

放送チャンネル/生放送・録画放送/21ch
ラジオ・ラプシート/78.6MHz

3月市議会定例会の予定

次の定例会は
3月3日(金)開会予定です

この冊子は、折込み「12月市議会定例会 冬号」です。
このページは裏面になります。
本紙から抜き取ってご覧ください。